

# 令和元（2019）年度 事業報告

## 1 営業日ならびに営業時間

営業日 月曜日～金曜日及び管理者が定めた日

営業時間 8時30分～17時00分

サービス提供時間 9時30分～15時30分

## 2 年間開所日数

264日

## 3 利用者状況（2020年3月31日現在）（単位：人）

| サービスの種類  | 定員 | 登録利用者数 | 平均利用者数 | 新規利用者数 | 退所者数 |
|----------|----|--------|--------|--------|------|
| 生活介護     | 14 | 13     | 11.9   | 0      | 2    |
| 就労継続支援B型 | 13 | 15     | 11.9   | 1      | 1    |

平均年齢=31歳 男性：18名 女性：10名 平均区分=4.9

## 4 職員体制（単位：人）

| サービスの種類  | 職 種         | 勤務形態     |    |     |
|----------|-------------|----------|----|-----|
|          |             | 専従 or 兼務 | 常勤 | 非常勤 |
| 生活介護     | 医師          | 専従       |    | 1   |
|          | 生活支援員       | 専従       | 1  | 4   |
|          |             | 兼務       | 2  | 4   |
|          | 看護職員        | 兼務       |    | 1   |
|          | 機能訓練指導員     | 兼務       |    | 1   |
| 就労継続支援B型 | 生活支援員       | 専従       | 1  |     |
|          |             | 兼務       |    | 3   |
|          | 職業指導員       | 兼務       | 1  |     |
|          | 目標工賃達成指導員   | 専従       |    | 1   |
|          |             | 兼務       |    | 2   |
| 共 通      | 管理者・サービス管理者 | 兼務       | 1  |     |
|          | 送迎専門員       | 専従       |    | 1   |

## 5 利用者送迎

ア 姫路市内を3方面に分け運行し1回当たり約13名が利用している。

イ 警報時や体調不良時等、利用者の状態に配慮し、緊急的な送迎にも臨機応変に対応している。

## 6 研修関係

専門職者としての資質の向上を図る為に、施設内研修や外部での研修に積極的に参加し、専門分野などの知識や最新情報の収集を行う。

また、ひょうご仕事と生活センターに依頼し外部講師を選定してもらい研修を実施。

### ア 事業所内研修

| 日付        | 内容   | 参加者        |
|-----------|--|------------|
| 2019.4.19 | 職員行動基準について 上田施設長   | 施設長・支援員11名 |
| 2019.7.19 | 「チームワークの効果的な導き方」<br>ひょうご仕事と生活センター外部相談員<br>アドマーニ 代表 山本信子氏 | 施設長・支援員11名 |
| 2018.9.20 | 「救命講習」<br>姫路市消防局 東消防署 救急救命士 永井氏                          | 施設長・支援員9名  |
| 2020.1.17 | 「自閉症の人たちへの支援」について<br>上田施設長                               | 施設長・支援員12名 |
| 2020.2.14 | 「感染症予防」について<br>柳内看護職員                                    | 施設長・支援員11名 |
| 随時        | 新人研修   |            |

### イ 外部研修

| 日付        | 内容                         | 参加者      | 場所                  |
|-----------|----------------------------|----------|---------------------|
| 2019.4.13 | アイシングクッキー講習会               | 井藤<br>馬場 | プロフーズ               |
| 2019.5.21 | 衛生講習会（食中毒の予防について）          | 内藤       | 姫路市総合福祉会館           |
| 2019.6.03 | リーダー養成研修会                  | 西田       | 尼崎商工会議所             |
| 2019.6.06 | 新任職員研修                     | 大坪       | 姫路市総合福祉会館           |
| 2019.6.18 | 食品表示セミナー<br>食品表示基準への対応に向けて | 中濱       | 姫路・西はりま<br>地場産業センター |
| 2019.7.16 | 障害者虐待対応力向上研修1              | 金田       | 兵庫県立労働会館            |
| 2019.8.28 | 障害者虐待対応力向上研修2              | 金田       | 兵庫県立労働会館            |
| 2019.9.17 | 知的障害や発達障害を<br>理解するための研修1   | 大坪       | 姫路市総合福祉会館           |

|              |  |                |                     |
|--------------|--|----------------|---------------------|
| 2019. 9. 18  | 知的障害や発達障害を<br>理解するための研修 2                              | 大坪             | 兵庫県総合福祉センター         |
| 2019. 9. 20  | 福祉職として働くための<br>アンガーマネジメント研修                            | 西田             | 兵庫県福祉センター           |
| 2019. 9. 24  | 感染症対策研修（専門職研修）   | 柳内             | 姫路市総合福祉会館           |
| 2019. 12. 19 | 社会福祉施設等中堅職員研修  | 西田             | 姫路市総合福祉会館           |
| 2020. 1. 15  | 授産製品魅力向上研修会  | 藤林<br>井藤       | じばさんビル              |
| 2020. 1. 27  | 「強度行動障害のある方への<br>基本的な理解と支援」                            | 大坪             | 姫路市総合福祉会館           |
| 2020. 1. 30  | 「現場での人材育成について考える」                                      | 西田             | 兵庫県姫路総合庁舎           |
| 2020. 1. 31  | 「強度行動障害のある方への<br>基本的な理解と支援」                            | 金田             | 姫路市総合福祉会館           |
| 2020. 2. 05  | 授産製品魅力向上研修会  | 井藤<br>藤林       | じばさんビル              |
| 2020. 2. 19  | 授産製品魅力向上研修会  | 中濱<br>藤林       | じばさんビル              |
| 2020. 2. 14  | 施設のアートの魅力を伝える商品開発                                      | 藤林<br>研本       | ゆめカフェ               |
| 2020. 2. 17  | はりま福祉サービス従事者研修 2019<br>「施設運営管理の基本知識<br>～施設運営に関する管理手法～」 | 上田             | 姫路市総合福祉会館           |
| 2020. 2. 28  | サービス管理責任者更新研修  | 上田             | 総合リハビリテーション<br>センター |
| 2020. 3. 03  | スヌーズレンの理念と概要   | 中濱<br>鵜鷹<br>藤林 | おひさま園               |
| 2020. 3. 02  | はりま福祉サービス従事者研修 2019<br>「事業所における理念と事業計画」                | 上田             | 姫路市総合福祉会館           |
| 2020. 3. 04  | 授産製品魅力向上研修会  | 中濱<br>井藤       | じばさんビル              |

#### ウ 講演会

| 日付          | 内容  | 参加者              | 場所   |
|-------------|---|------------------|------|
| 2018. 9. 09 | 「親として今何をすべきか」<br>社会福祉法人 姫路市社会福祉事業団<br>相談支援事業所 ぱっそあぱっそ | 家族会会員 17 名<br>上田 | 当事業所 |

|  |          |  |  |
|--|----------|--|--|
|  | 所長 濱 亜紀子 |  |  |
|--|----------|--|--|

## エ 事業所見学

| 日付          | 見学先            | 参加者      |
|-------------|----------------|----------|
| 2019. 6. 04 | やまなみ工房（滋賀県甲賀市） | 寺西、鵜鷹、藤林 |

## 7 会議の開催

### ア 職員会議（月1回）

行事の確認や打ち合わせ、次月予定等の確認を行う。

### イ 個別支援会議（随時）

利用者の現状を把握し、課題の分析と今後の支援方法について確認を行う。

## 8 健康管理

ア 看護師による検温、体重測定、血圧測定を定期的を実施。

イ インフルエンザ、ノロウイルスの流行期にうがい・手洗いの励行等、注意喚起を行う。

ウ 昨年度に続き利用者全員を対象に健康診断を実施。（9月）

エ 常勤職員を対象に健康診断を実施。（2月・3月）

## 9 防災対策

9月・3月に地震による火災を想定した訓練を実施。

職員の動きに重きをおき、想定できる利用者トラブル等も視野に入れた訓練とした。

来年度からは防災訓練に加え、不審者の侵入や、過去にあった想定外のトラブル（利用者の行方がわからない等）を踏まえた訓練を実施したい。

## 10 余暇活動

### ア 支援の状況

（ア）月に1・2回程度、少人数グループによる余暇の支援を行う。

昨年度より、活動の幅の拡大を目的として、1人当たり年間1,500円（年3回）の予算を利用できる活動へと変更。今年度も昨年度と同様に満足度は高い。今年度においては、公共交通機関を利用した外出や、民間の娯楽施設を利用したもの等、利用者の思いをそのまま取り入れた自由な活動が目立ち、それが満足度を維持できた理由と思われる。

近隣地域の清掃活動や、山登り等体力づくりに繋がる活動もこの時間を利用し実施。

（イ）月に1・2回程度土曜日を開所し、遠方への外出や創作、ボランティア団体との交流、調理、音楽活動等、主に利用者参加型で個々の楽しみとなるような時間を提供。希望者数は内容により増減するも昨年より増え平均18名程度である。

### イ 今後の課題

（ア）利用者数の増加により趣味嗜好が多様化し、より個々の楽しみや経験を考え、その上で利用者全体が楽しむことのできる余暇を提供していけるよう各職員が趣向を凝らしてい

るが、それが職員への負担増に繋がっていないかという懸念がある。利用者個々を大切に  
した目的意識を持った活動を進めていくことが勿論大切ではあるが、実施準備等々におけ  
る負担の大きさをしっかりと考慮することも必要と考える。

- (イ) 昨年度同様、土曜日に出勤できる職員数に限りがあり、職員を多数配置しなければ  
ならない行事（外出等）が実施しづらくなっている。

## 11 生活介護事業

### ア 支援の状況

- (ア) 各利用者との信頼関係を構築し、安心して通所していただけるように配慮する。
- (イ) 障害特性を理解した上での支援を図る為、職員の勉強会や、外部研修に積極的に  
参加する。
- (ウ) 外出する機会を作り、適度な運動と気分転換を行う。
- (エ) 調理、音楽活動、社会交流等の余暇支援を行う。
- (オ) 利用者1人1人の将来を見据えた活動として創作活動、運動などを作業時間に実施。  
創作活動においては個々の個性や才能を発見するための取り組みの一つとして、運動に  
関しては健康状態の現状と今後を踏まえたものとして実施している。

### イ 今後の課題

- (ア) 利用者の特性に応じた活動内容の確保と充実、健康増進・維持を図るため、職員が軽い  
運動やストレッチ等のスキルを身につけたり、必要に応じ外部からの専門職の支援や、  
個々のアプローチにおけるアドバイス・研修の必要がある。
- (イ) 利用者の増加に伴い、個別若しくは少人数の落ち着いた環境を提供することが難しく  
なっている。個々人の特性等に配慮した環境づくりの方法を模索中である。
- (ウ) 創作活動をはじめとした、生活介護利用者を対象とした活動について、今年度夏～秋頃  
に利用者と保護者を対象に意向調査を行った。結論として前向きに検討していく流れと  
なったが、現状においてはまだ具体性を帯びたものとなっていない。活動内容や  
それに伴う体制変更など、導入に向けた協議を重ね、案を具体化させていく必要がある。

## 12 就労継続支援B型事業

### ア 支援の状況

- (ア) 利用者の作業能力の適正を見極め、各々に適した作業に取り組んでもらう。
- (イ) 利用者の特性に応じた作業が提供できるよう元請先の新規開拓（山本パッケージ）を  
行う。
- (ウ) 全体の作業の流れを鑑みて、ポスティング1社（リビング）との契約を終了する。
- (エ) 姫路市より清掃業務委託を5件受注した。
- (オ) 効率よく作業が取り組めるよう作業場の整理、整頓を行う。
- (カ) 焼き菓子、雑貨等の自主製品の開発・製造販売を実施。
- (キ) はばたけ授産品コンクールでは審査員努力賞を受賞。

イ 自主製品事業販売先

- ・はーとふる SHOP（市役所・すこやかセンター） ・丸尾町総合センター（ふれあい喫茶）
- ・楠の家 ・イオン姫路店 ・白樺の家

ウ 今後の課題

- （ア）利用者工賃引上げに対する取り組み。
- （イ）環境整備。
- （ウ）自主製品（菓子、雑貨）の販売先の開拓。
- （エ）新商品の開発、販売の促進。

13 家族との連携

- ア 家族会において情報交換を積極的に行う。
- イ 広報誌“ほほえみ”を月に1回発行し情報提供を行う。
- ウ 家族会との親睦会や親子旅行に参加し家族との交流を深める。

14 地域交流

- ア 家族会の協力を得ることにより、地域清掃を3月28日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となる。
- イ 粗大ごみの当番を年2回引き受ける。
- ウ ふれあい喫茶や楠の家・白樺の家への販売、各販売イベント等を通して社会参加と地域交流を行う。

15 バザー出店

下記バザーにおいて出店販売を行う。

| 日付           | 開催名         |
|--------------|-------------|
| 2019. 4. 14  | さくらまつり      |
| 2019. 11. 16 | ひめようさい      |
| 2019. 12. 15 | 西はりま高校生マルシェ |
| 2020. 3. 14  | ひめされん祭（中止）  |

16 労務・経理関係

- ア 全職員を対象に管理者による個人面談を実施し、現状の把握や今後の方針を再確認する。
- イ 残業時間の軽減することで働きやすい環境を整える。